愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	虎岩 朋加	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この演習では、学校の中の多様性という観点から、多様性をめぐって実際の保育・教育現場が直面する問題点や課題について、各自の関心に基づき、レポートを作成するために求められる基礎的な作業を各自で行う。全体による対面授業と個別のオンライン授業とを併用させて研究指導を行う。なお、オンデマンド授業時の質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業方法　演習形式を中心に、講義や、発表、ディスカッション、グループワークなどを取り入れて学習活動を進める。4回程度リモート授業を実施する可能性がある。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション、学期の学びの目標の提示、演習への参加の仕方、授業計画の説明などを行う。	□
第2回	多様性と教育に関するテーマの設定	各自の関心に基づき、多様性と教育に関するテーマを設定する。	□
第3回	多様性と教育に関するテーマの発表	各自のテーマを発表し、相互に検討し合う。	□
第4回	多様性と教育に関するテーマの検討	検討の結果を受けて、再度テーマを検討して、設定し直す。	□
第5回	テーマに関する情報の収集　（１）書籍	テーマに関する情報の収集をする。テーマに関する書籍の探索を行う。	□
第6回	テーマに関する情報の収集　（２）新聞・雑誌	テーマに関する情報の収集をする。新聞・雑誌の記事を対象として探索を行う。	□
第7回	テーマに関する情報の収集　（３）関連する調査資料やデータ	テーマに関する情報の収集をする。テーマに関連する調査資料や統計データなどの探索を行う。	□
第8回	テーマに関する情報の収集　（４）インターネット情報検索	テーマに関する情報の収集をする。インターネットでの情報探索を行う	□
第9回	テーマに関する情報の収集　（５）関連する現場での調査（観察や聞き取り）	テーマに関する情報の収集を行う。テーマに見合う手法を採用する。	□
第10回	テーマに関する情報の収集　（６）関連する現場での調査（観察や聞き取り）	テーマに関する情報の収集を行う。テーマに見合う手法を採用する。	□
第11回	収集した情報の整理と分析（１）	収集した情報をカードに整理する。	□
第12回	収集した情報の整理と分析（２）	整理したカードから、発見を読み取る。	□
第13回	収集した情報の整理と分析（３）	読み取った発見を、一つのまとまりに統合する。	□
第14回	調査を通したテーマの再考察	まとまった調査結果から、再度、最初のテーマに返って、テーマに含まれていた前提や仮説を再検討する。	□
第15回	テーマに関する情報の総合的検討	調査結果を全体で討議し、総合的に検討を加える。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

求められている課題に関する情報収集、資料探索などにより事前学習を進める（2時間程度）。また、課題に関して行う助言やフィードバックを取り入れ、情報収集に軌道修正を図ることで、事後学習を展開する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は、各自のテーマ設定、それに関する情報収集、収集した情報の整理と分析、およびまとめのレポート作成である。授業の中で、各自の研究調査に対して、フィードバックやピアレビューなどを行う。まとめのレポートにはコメントを付し、返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	現代の保育や教育の現場が直面する課題や問題について理解し、それを多角的な観点から表現することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	現代の保育や教育の現場が直面する課題や問題について、それらをめぐる情報を収集し、収集した情報を互いに関連させながら、整理して、分析したり、統合したりして、的確にまとめることができる。
主体性	◆ 2019子ども発達DP3	保育や教育の現場が直面する課題や問題を主体的に設定して、自らの課題とし、考察することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

情報収集、まとめのレポートなど

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特に指定しない。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	参考図書はそのつど紹介する。参考資料は必要に応じて配布する。	
2		
3		
4		
5		